

国際ワークキャンプin伊野

スペイン・ウクライナの青年等がボランティア

高齢者や子どもたちと交流



▲伊野本陣で高齢者とゲームを楽しむ

今年で2回目を迎えた国際ワークキャンプは、外国人青年4人、県外の大学生5人を迎えて9月5日から1週間開催された。

今年の新しいメニューは福祉分野での活動。高齢者の自宅を訪れ、窓ふきや草取りなどの活動をしたほか、伊野本陣で利用者のみなさんと交流を深めた。

伊野小学校児童との交流は島根県立青少年の家でサバニ（船）をこいだり、ゲームを楽しんだりして、まる1日を過ごした。また、子どもたちと青年等と一緒におにぎら〜ずを作って、りんご山ピクニックも楽しんだ。